

ぶり
来ぶらり

 新入生、
要チェック!


つくる?

つかう?

さんか
する?

あなたと図書館の関係

 館長
コラム

自分の図書館

図書館長 高埜利彦

ぶかーり

3月11日(2011年)の大地震と津波によって、2万人に近い死者・行方不明者を出した。数多くの尊い命が失われたのと同時に、思い出深い生活の場も失われた。現在復興のために多大な努力が払われているが、失われたものは戻ってこない。

津波で流されたものの中には、図書館や個人の家々に所蔵されていた絵本・小説・辞典・学術書などの書籍類もあった。被災された人びとの中には、今もって本を手にとって読むことができない人が多くいる。気仙沼のある個人のお宅に、我が家から僅かばかりの書籍をお送りしたその返信に、「公共機関には本が送られてくるが、個人の住宅で被災して復旧に当たっているものには、本が流されたままで、しばらく読書ができないでいた。あらためて本を読めることの喜びを味わうことができた。」とあった。

図書館で本を読めることの喜びに、あらためて思い至る。森に囲まれた、静かなたたずまいの大学図書館で、本を読むよろこびを味わい、やがてあなたは、そこを自分の図書館にすることができるのです。

つかう 学内約170万冊の資料を自由に使いこなしてください。
自主学習やパソコン学習に最適な場所もあります。

★資料を探す、読む、借りる

学術的な専門書や基本書をはじめ、最新号の雑誌や話題の本など、多種多様な資料を取り揃えています。

これら学内の資料は「GLIM/OPAC」というデータベースを使って検索することができます。探したい本の書名や著者名、調べたいテーマのキーワードなどから検索すると、その本が学内のどこに所蔵されているか、また、利用可能かどうかが一目でわかります。まずはアクセス！



大学図書館ホームページ
→ GLIM/OPAC をクリック！



★場所をつかう

大学図書館には、多くの学習スペース・くつろぎスペースがあります。
時間が空いたら、まず図書館へ！



大学図書館 2階雑誌室



大学図書館 3階
コンピュータ利用閲覧室

さんかする 図書館では、様々なセミナーやガイダンスを随時開催しています。
レポートを書く上で役立つ授業も昨年度からスタートしました。

★授業を履修する

レポートを書いたり学習を進めていく上で必要な「情報の探し方」「文章の書き方」等が学べる授業が、図書館からの提案で平成23年4月より開講しました。

今年度は、「アカデミック・スキルズ<個別指導重視型>」「アカデミック・スキルズ<講義型>」の2つの授業を開講します（ともに第1学期/2単位）。

詳細は、総合基礎科目シラバスをご覧ください。



西田みどり先生「アカデミック・スキルズ」
(昨年度の授業風景)

★図書館セミナーを受ける

毎年、春と秋に大学図書館主催のセミナーを開催しています。今話題のテーマから、ためになるテーマまで、毎回多くの方々にご講演いただいています。

他に図書館スタッフが論文の探し方などをレクチャーするセミナーも、定期的に開催しています。何のセミナーが企画されているかチェックして、積極的に参加してみてください。



つくる 図書館を「つくりたい」あなた、いつでも大歓迎です。

★本を選ぶ、紹介する (Book Hunting !)

図書館の資料にしてほしい本を学生のみなさんが書店に行って選ぶBookHunting。
昨年度は6月と10月に2回実施し、約250冊を購入しました。



2011年10月実施のBook Hunting。8名が参加。



日本最大級の大型書店からお目当ての1冊を選択。



Huntingした本は、バーコードをハンディターミナルでスキャンするだけ。

また、選んだ本の中からそれぞれ数冊について、本の宣伝文 (POP) も作成しました。



真剣な表情でPOP作成に励む皆さん。



Huntingの成果はこちら！



自分の読んだ本を人に勧めたいから、思い出作りのため、司書課程を取っているから、動機は人それぞれ。
今年度も開催を予定していますので、ぜひお友達を誘って参加してみてください！！

★資料展示を企画・実施する

1階入退館ゲート正面の展示ブースでは、年間を通じて特定のテーマに沿った資料展示やパンフレット配布を行っています。なかでも秋に実施する展示は、学生のみなさんが企画・実施しています。



掘り出し物の本と出会う！

卒業までに読みたい「恋愛の本」

Produced by
文学部女子4名
in 2010



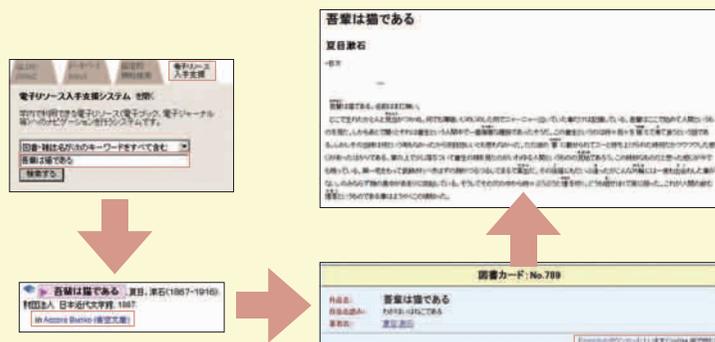
今だから読みたい「ニュースを読みとく本」

Produced by
文学部男子1名
in 2011



電子ブックが検索可能になりました！

大学図書館 HP から電子ブックも検索できるようになりました。「電子リソース入手支援」タブを選択し、検索するだけで、青空文庫、東洋文庫など2万冊以上のフルテキストを閲覧できます。ご活用ください！！



Information

大学図書館の 開館時間が長くなります

平成 24 年度より、通常授業日の大学図書館開館時間が

8:50 ~ 21:00 となります

※土曜日は従来通り 18:00 まで

年間開館スケジュールの詳細は大学図書館ホームページまたは館内で配布している図書館カレンダーをご確認ください。

Information



連載 第4回

人に自分の本棚を見せる機会、意外とないですね。ちょっと恥ずかしいけれど自慢したい、わたしの本棚。今回は、経済学部教授の石井晋先生にご自身の本棚を紹介していただきました。

「～幸福度 3 倍アップ！わたしの本棚管理法～」

経済学部経済学科教授 石井晋

昨年 3 月 11 日の大地震のとき、研究室では備え付け以外の本棚が倒壊、大量の本と書類が散乱しました。以後、数千冊の蔵書の大半を裁断、スキャンし、電子化する作業（いわゆる「自炊」）を実行中。7-8 年計画です。



地震発生後の様子。本棚が倒れ、床に大量の本が散乱しました。

数年前から Amazon Kindle を愛用し、電子ブックに親しんできました。紙の本を破



所有している電子書籍端末の一部。数年前から愛用している Amazon Kindle をはじめ、SONY Reader、GALAXY Tab など

壊する「自炊」には抵抗がありましたが、地震体験で一線を越えました。端末に合わせた微妙な PDF ファイル設定、バックアップなど実に面倒くさく、業者に委託したいのですが、著作権問題が絡むのですべて自分の手作業です。電子ブックは、個人輸入した GALAXY Tab など 10 台の Android tablet の他、SONY Reader など 8 台の電子ブック専用端末で閲覧しており、それらが現在の私の主要な「本棚」です。

電子ブックは、読みやすさ、感触などの点で紙の本にかなわず、技術進歩したとしても、たぶん優ることはないでしょう。しかし、数百グラムの端末に数千冊の本を入れて常に持ち歩けることは本好き人間にとって何ものにも代え難く、私は幸福度が約3倍アップしました。今後、電子化を進めていけば、一冊の本を探すために研究室内を数日間搜索したり、同じ本を2冊以上買ってしまったり、持っているはずの本を図書館から借りるようなこともなくなっていくと思われます。

来ぶらり No.89 2012 年 4 月 1 日発行

学習院大学図書館 発行責任者：高埜利彦 編集委員：瀬戸山雄介・内藤沙織

1 階貸出・返却カウンター ☎ 03-5992-1009 (直通) 内線 2397 2 階レファレンスカウンター ☎ 03-5992-9249 (直通) 内線 2395・2396

☎ 03-3986-0221 (代表) 〒 171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

「来ぶらり」のバックナンバーは
(<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/collection/library/raiburari.html>) で公開しています。